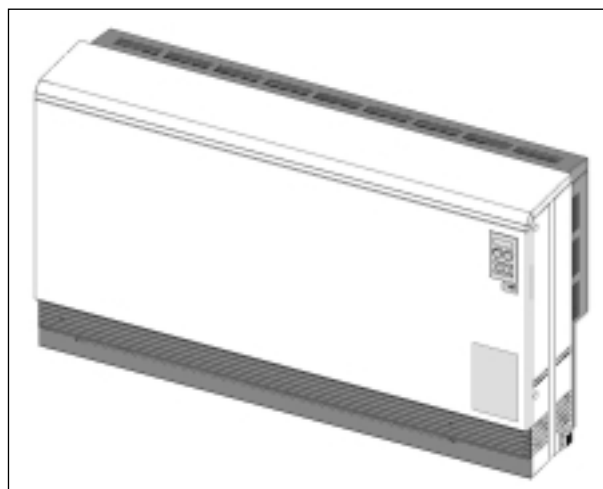
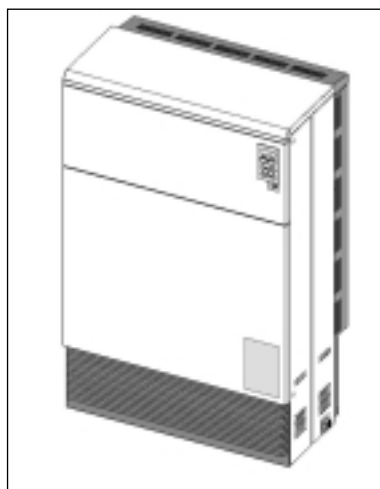
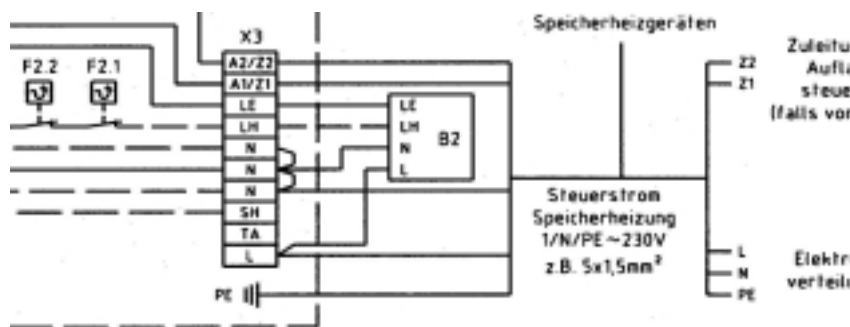
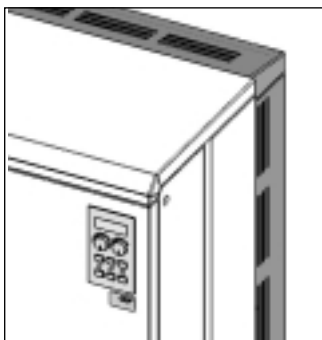
OLSBERG

User Manual 取扱説明書

Carat　　 標準型　14-51_-9
Montana　縦長型　14-53_-9
Century　横長型　14-55_-9

このたびは、オルスバーグ蓄熱式電気暖房器をお買い上げいただきまして誠にありがとうございました。
ご使用の前にこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使い下さい。
お読みいただいた後は、保証書が付属しておりますので大切に保管してください。

蓄熱式電気暖房器が転倒した場合の処置

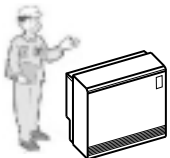
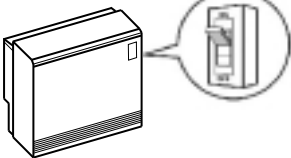
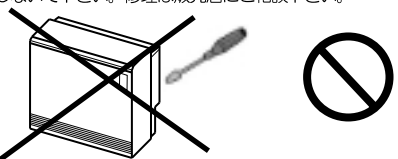
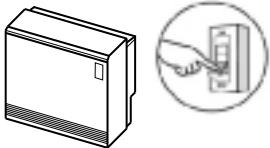
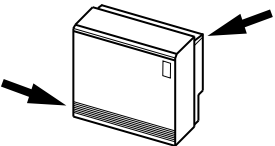
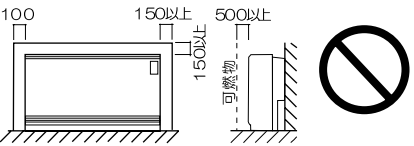
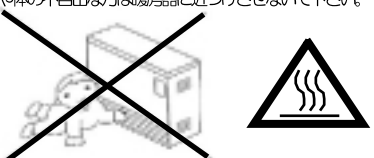
地震等で万が一、蓄熱式電気暖房器が転倒した場合は、基本的には転倒センサーの作動により電源が遮断されますが、本体と床等可燃物が密着して火災になる恐れがありますので、以下の通り処置をお願い致します。

1．念のため、お手を触れずにブレーカーを切ってください。
2．落下物など可燃物が近くにある場合は取り除いてください。
3．暖房中に万が一転倒した場合には、念のため本体の周りから床などに水を掛けてください。
4．その後、すみやかに販売店、または工事店に連絡してください。

※水を掛ける場合は本体に直接掛からない様にご注意下さい。
二次災害を防止する為の処置により発生した錆や変形等にかかわる修理代金はお客様のご負担となります。

１．目　次

シーズンオフ又はお使いにならない場合の設定の仕方

暖房シーズンが終わりましたら、不要な動作を防ぐ為に２００V電源ブレーカーをお切りください。
１００Vにて制御回路に給電している場合は、蓄熱設定を０％にした後にチャイルドロックを掛けてください。

2．ご使用前に良くお読みください

①蓄熱式電気暖房器“オルスバーグ”は、安全性に十分考慮して設計されておりますが、より安全で快適にご使用いただくために、下記の点にご注意下さい。
②ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や、家財の損害に結びつくものをまとめて記載しています。安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

	警告	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

	「禁止」を表します。
	「火傷の恐れあり」を表します。
	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

据付工事は専門業者に	ブレーカーは指定容量で	単独ブレーカーの取付を
●必ずお買上げ販売店または、専門業者（電気工事士）に工事を依頼して下さい。	●指定容量（アンペア）のブレーカーを使用して下さい。	●単独ブレーカーの取り付けが必要となります。
アースは必ず接続	**分解・改造は絶対不可**	**点検等はブレーカーを「切」に**
●接続されていないと感電・故障の原因となります。 アース	●事故の原因となりますので、分解・修理・改造は絶対にしないで下さい。修理は販売店にご相談下さい。	●感電の恐れがありますので点検時は必ずブレーカーを切って下さい。
転倒防止金具を取り付けて	**壁等から離して設置**	**不安定な場所に置かない**
●地震、その他による転倒を防ぐ為、付属の転倒防止金具を取り付けて下さい。	●家具や畳等の間は下図の様に離して下さい。 ●カーテン等燃えやすい物の近くでは特に守って下さい。 100 150以上 500以上 150以上 可燃物	●安定性の欠ける畳やカーペット等の上には直接設置しないで下さい。
燃えやすい物を置かないで	**やけどに注意**	**絶対に覆わないで下さい**
●本体の上や周囲には燃えやすい物を置かないで下さい。	●温風吹出し口に手足などを触れないで下さい。 ●乳幼児や体の不自由な方は暖房器に近づけさせないで下さい。	●本体を毛布や衣類、タオル等で絶対に覆わないで下さい。
吹出し口を塞がないで	**本体に腰掛けないで**	**水をかけないで**
●温風吹出し口の近くに暖気を遮る物を置かないで下さい。	●本体に腰掛けたり、物をのせたりしないでしないで下さい。	●花瓶の水をこぼしたり、雨の吹込みに気を付けて下さい。

3．製品特徴

蓄熱式電気暖房器は次のような数多くの優れた特徴を持っています。

■経済性

昼間の電気の１／３～１／４で利用できる割安な深夜電力を利用して蓄熱しますので非常に経済的です。
オルスバーグのマイコン型は、使わなかった熱（残熱量）を計算し通電開始時刻を自動制御します。
深夜電力の時間帯の終わり時刻から逆算して蓄熱開始時刻を決定しますのでとても経済的です。
電力会社によっては、割引制度が適用になりますので更にお得です。
（割引の有無、割引率は電力会社によって異なります）

■簡単操作

暖房シーズンに入ったら、蓄熱量設定をし２００VのブレーカーをONにします。
季節に合わせて蓄熱量を調節すれば、後はオルスバーグのマイコンが毎日自動的に蓄熱します。
室温設定をし、ファンのボタンを押すだけで室温が下がると自動的にファンが回り快適温度を保ちます。
ファンには消し忘れ防止機能がありますので、蓄熱時間になると自動的に切れて設定蓄熱量を確保します。
操作部も基本操作はダイレクトに操作できるように配置し、拡張機能はメニューボタンを押し操作するように配置。どなたでも簡単に操作することができます。

■安全性

火を使わないので火災の危険性が少なく、爆発や中毒、酸欠の心配は一切ありません。
また、二重三重の安全機能が装備されておりますので常に安心してお使いいただけます。
オルスバーグ製品は独自に、オルスバーグアースクエークプロテクションの設計思想で高い耐震性能を実現しました。（ＯＥＰ：Olsberg Earthquake Protection）

■快適性

本体の表面パネルが熱くなり、周りの空気を暖めて自然対流させるふく射熱と、内蔵のファンを回して行う強制放熱の複合暖房の為、とてもマイルドな暖房感です。
ファンは設定した温度より室温が下がると回転を始め自動的に快適暖房を行います。

■クリーン性

火を燃やさないのでお部屋の空気を汚しません。また、火を燃やさないので一酸化炭素中毒の心配もありません。

■メンテナンス性

シンプルな構造の為故障しにくく、操作も簡単で面倒な燃料補給も不要です。

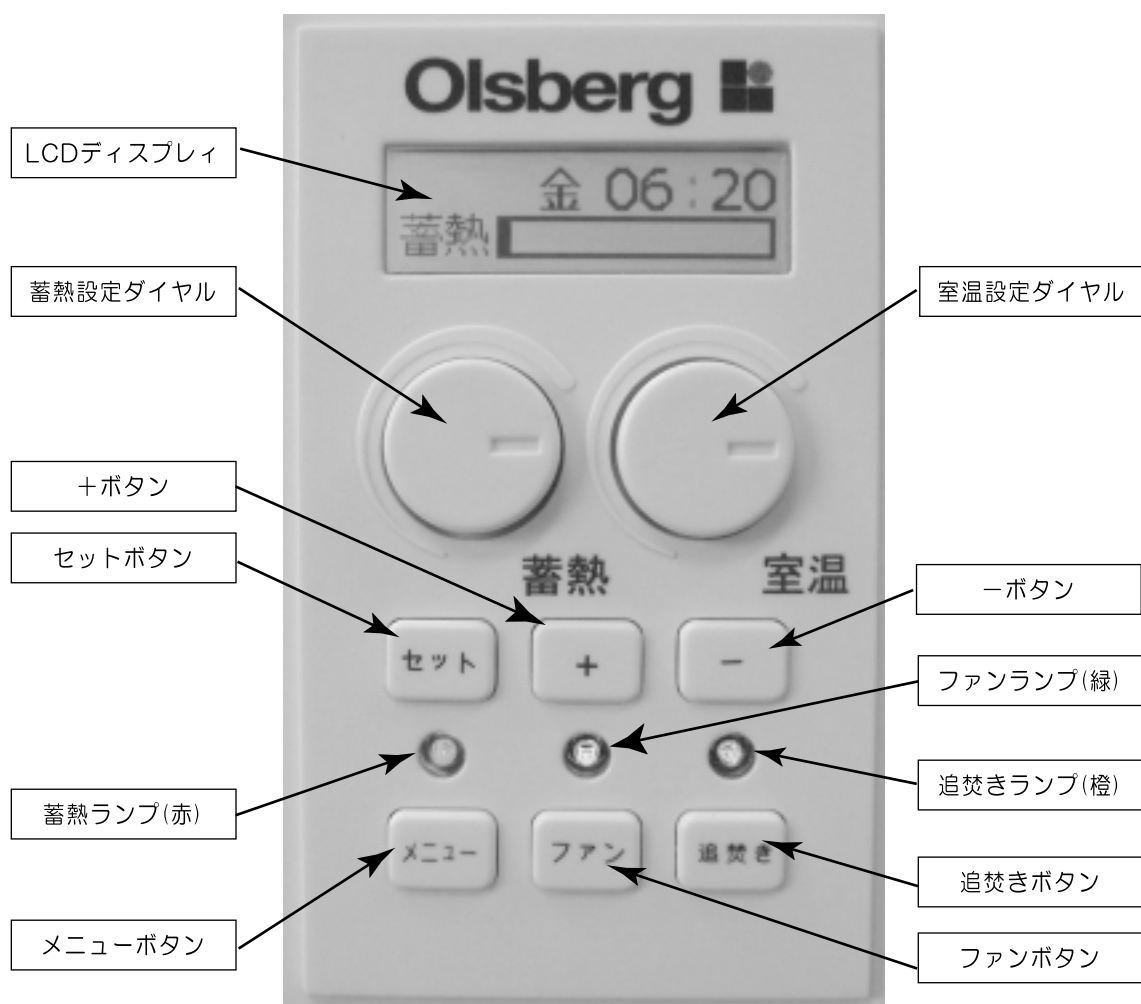
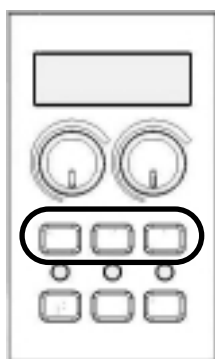
■省エネの為に

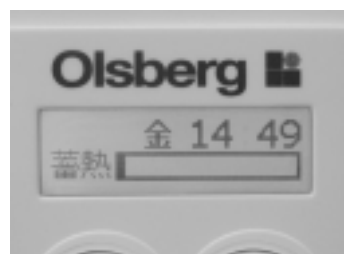
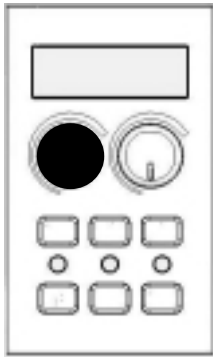
室温は２０℃以下に設定しましょう。
１℃上がるたびに６～７％電気代が高くなり、１℃下げる事で６～７％節約できます。
冬場に長期間家を不在にする時は、ファンのスイッチを切り、蓄熱設定も低めにしておくと良いでしょう。
ただし、切ってしまうと家が冷え切ってしまい暖房に時間が掛かりますのでご注意ください。
室内を常に保温状態に保つほうが経済的です。
換気をする時はファンのスイッチを切り、窓を広く開け短時間で換気したほうが経済的です。
外が暗くなったら、カーテンやブラインドを閉め、外に熱が逃げたり冷たい外気が侵入するのを防ぎましょう。

4．操作方法

■操作部の位置関係と名称

LCDディスプレィ
蓄熱設定ダイヤル
室温設定ダイヤル
＋ボタン
セットボタン
－ボタン
ファンランプ(緑)
蓄熱ランプ(赤)
追焚きランプ(橙)
追焚きボタン
メニューボタン
ファンボタン

Olsberg
金 06：20
蓄熱
蓄熱　室温
セット　＋　－
メニュー　ファン　追焚き

1．LCDディスプレィ

通常時は、「現在時刻」「曜日」「残熱量」を表示しています。
ボタンやダイヤルを操作すると、ディスプレィのバックライトが点等します。
15秒間点等した後、自動的に消灯します。
バックライトを点灯させたい時は、「セット」「＋」「－」を押してください。
ディズプレィ表示を切り替えた後、30秒間何も操作をしないと通常表示に戻ります。

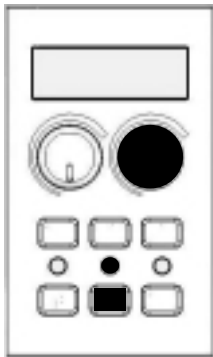
◇通常表示

2．蓄熱設定ダイヤル

「蓄熱設定ダイヤル」により、蓄熱量を設定します。

●左いっぱいに回すと０％、右いっぱいに回すと１００％になります。
●蓄熱設定ダイヤルを回すとディスプレィに設定量がバー表示されます。
●設定量は０％～１００％まで無段階に設定できます。
●蓄熱設定バーには目盛りが表示されますので、設定の目安にして下さい。
※設定終了後３０秒経過すると通常表示に戻ります。
※ダイヤルを早く回すとバー表示が遅れますのでゆっくり回してください。

０％

約１／２

１００％

3．室温設定ダイヤルとファンボタン

「室温設定ダイヤル」により、５℃～３０℃まで０.５℃刻みで室温を設定できます。

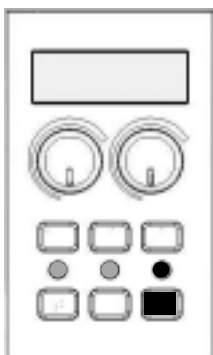
●ファンボタンを押しファンランプ(緑）が点灯すると、設定した室温より室温センサーで検知している室温が低い時にファンは自動的に運転し、設定した室温に達すると自動的にファンが停止する動作を繰り返します。
※室温設定はファンボタンと連動して機能しますので、ファンランプが消灯している時は自然放熱運転となります。
※室温設定を低くセットしても自然放熱量を減らす事は出来ませんのでご注意下さい。
※設定終了後３０秒経過すると通常表示に戻ります。

●通電制御による蓄熱開始時刻になると、ファンは自動的にストップします。
これは、設定した蓄熱量を確保する為の動作ですが、ファンボタンを押せばファンを回す事が出来ます。
ただし、翌朝設定蓄熱量に達しない事がありますのでご注意下さい。

●暖房器側の室温センサーは床面に近い場所に設置されている為、居室内の室温計の表示と誤差が出る事があります。
暖房器の室温はあくまで目安としてください。

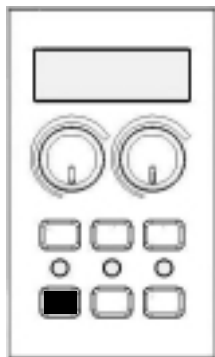
ご注意

朝7時前にファンを使用した場合、
設定蓄熱量に達しない事があります。

4．追焚き運転

「追焚きボタン」を押すと強制的に蓄熱運転を行う事が出来ます。

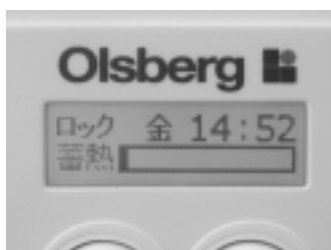
●追焚きボタンを押すと、追焚きランプ（橙）が点灯した後、蓄熱ランプ（赤）とファンランプ（緑）が点灯し強制通電状態になります。
（蓄熱しながらファンも回転します）
※ファンボタンを押せば、追焚き運転中にファンを停止させる事も出来ます。

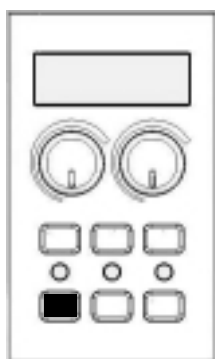
●追焚き運転は２時間のオフタイマーを内蔵しています。
２時間経過するか、設定蓄熱量に達すると自動的に解除されます。
また、蓄熱開始時刻になった時も自動的に解除されます。
※追焚き運転中に「追焚きボタン」押すと強制的に解除する事も出来ます。

５．チャイルドロック

「チャイルドロック」機能を使用して、不意な操作を防止できます。

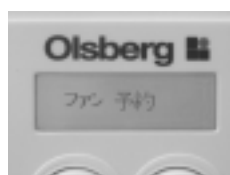
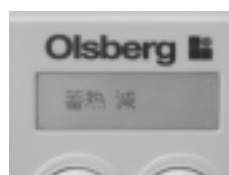
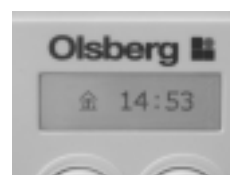
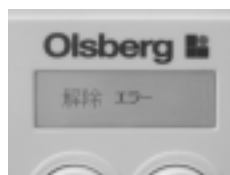
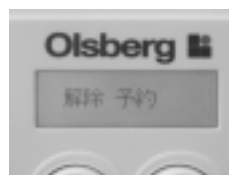
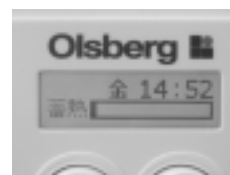
●メニューボタンを４秒間長押しするとチャイルドロックが掛かります。
　チャイルドロックが掛かるとディスプレィに「ロック」と表示されます。
　解除するには再度メニューボタンを４秒間長押ししてください。

●チャイルドロック中は、全てのボタンやダイアルがロックされます。
※チャイルドロック中に蓄熱及び室温設定ダイヤルが操作された場合、ロックが解除
　された時に操作された値がディスプレィに表示され設定値が変わります。

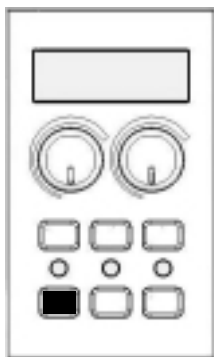
※停電やブレーカーが落ちた時は、再度給電を開始した時にロックが解除された状態
　になりますのでご注意下さい。

※チャイルドロックは、通常表示画面から
　のみ設定が可能です。

６．メニューボタン

「メニューボタン」を押すと時計合わせやエラー解除等サブメニューが表示されます。

●メニューボタンを押すと、サブメニューを表示します。

◇通常表示
↓
①ファン予約
↓
②減熱設定
↓
③時計合わせ
↓
④エラー解除
↓
⑤予約解除
↓
◇通常表示

①ファン予約（1回押し）
④エラー解除（4回押し）

②減熱設定（2回押し）
⑤予約解除（５回押し）

③時計合わせ(3回押し)
◇通常表示（６回押し）

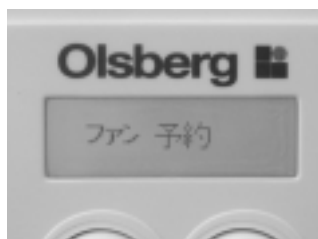
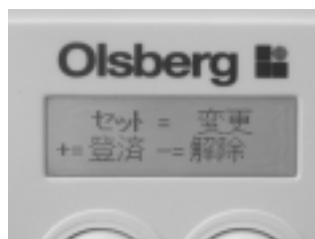
●各メニュー機能の選択はセットボタンを押す事で選択できます。
　設定内容は、「＋」「－」ボタンを使用して調節します。
　変更した設定を確定する為には、最後に「セット」ボタンを押します。
　「メニューボタン」を押したり５秒間操作をしないと、変更した設定内容は
　取り消されます。

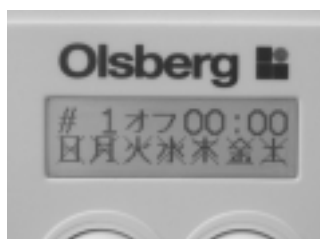
①「ファン予約」・・・「メニュー」ボタンx１回

◇登録済プログラムの中から生活パターンに一番近いモードをお選び頂き、設定内容（時間、曜日等）の変更を頂くと予約設定が簡単に出来ます。その上で不足分をマニュアル設定頂くと便利です。

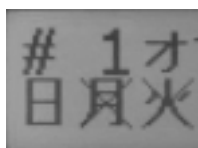
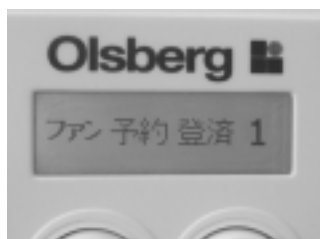
◇設定された曜日・時刻になるとファンが自動的に運転し快適な室内環境を作ります。
予め登録された５種類のメニューの他に、一週間に最大４２通りの設定を登録できます。

◇設定内容は、停電時及びブレーカーを落としても保持されます。

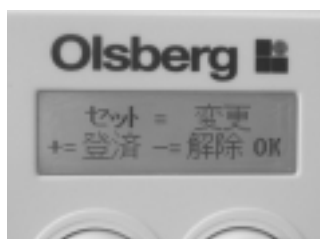
●「メニュー」ボタンを1回押し、ディスプレィに「ファン予約」を表示させる。
●「セット」ボタンを押すとファン予約の設定画面に切り替わります。

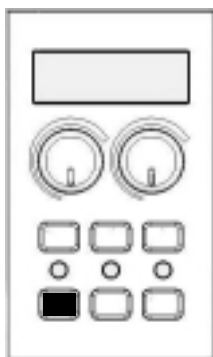
ご注意
朝7時前にファン予約をした場合、設定蓄熱量に達しない事があります。

◇ファン予約画面

◇設定選択画面

●「セット」ボタン：設定内容の変更、マニュアル設定登録。
●「　＋　」ボタン：登録済みプログラム選択。（５種類）　−１０ページ参照
●「　−　」ボタン：予約が解除され工場出荷状態に戻ります。

◇マニュアル設定画面

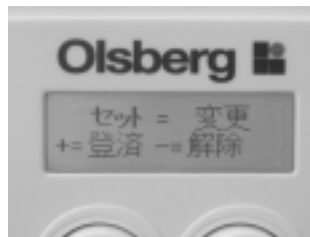
〔設定内容の変更・マニュアル設定登録〕
●設定選択画面で「セット」ボタンを押すと、左のマニュアル登録画面に切り替ります。
●「セット」ボタンを押すたびに、フリッカーしている変更可能箇所が移動します。希望の変更箇所で「＋」「−」を押すと変更できます。
●最後に「セット」ボタンを押し確定します。

■曜日の設定
設定されていない曜日には「X」がつきます。
左の例では、「日」はON。「月火」はOFFとなっています。

◇登録済プログラム選択画面

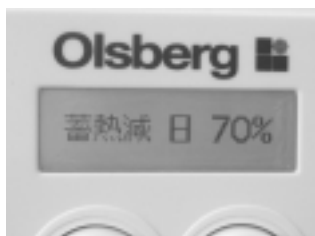
〔登録済プログラム選択〕
●設定選択画面で「＋」ボタンを押すと、左の登録済プログラム選択画面に切り替ります。
●「＋」「−」ボタンで希望の登録済プログラム番号を選択します。
●最後に「セット」ボタンを押し確定します。

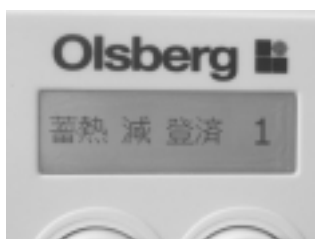
※登録済プログラムも、手動で設定内容の変更が可能です。

〔設定解除〕
●設定選択画面で「−」ボタンを押すと、「解除」の右横に「OK」が表示されます。
●解除がOKであれば「セット」ボタンを押し確定します。

②「減熱設定」・・・「メニュー」ボタンｘ２回

◇減熱設定は設定されている蓄熱量に対しての減熱となります。
◇減熱設定は、曜日単位に蓄熱設定量を少なめに予約設定できます。
以下の様な使い方をされるユーザーには便利な機能です。
・共働き家庭で平日の日中は不在のユーザー
・週末は不在になるオフィスや学校等
・週末のみ使用する別荘等
◇設定内容は、停電時及びブレーカーを落としても保持されます。

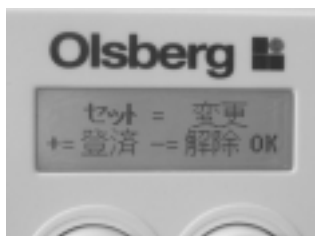
●「メニュー」ボタンを2回押し、ディスプレィに「蓄熱減」を表示させる。
●「セット」ボタンを押すと減熱設定の設定画面に切り替わります。

◇減熱設定画面

◇設定選択画面

●「セット」ボタン：設定内容の変更、マニュアル設定登録。（曜日毎に設定可能）
●「　＋　」ボタン：登録済みプログラム選択。（５種類）　―１０ページ参照
●「　－　」ボタン：予約が解除され工場出荷状態に戻ります。

◇設定変更・マニュアル設定画面

〔設定内容の変更、マニュアル設定登録〕
●設定選択画面で「セット」ボタンを押すと、マニュアル登録画面に切り替ります。
●「セット」ボタンを押すたびに、曜日と減熱設定値が切り替わりフリッカーします。
●「＋」「－」を押し、曜日又は減熱設定値を切り替えます。
●最後に「セット」ボタンを押し確定します。
※最大で７０％まで１０％単位で設定可能です。

◇登録済プログラム選択画面

〔登録済プログラム選択〕
●設定選択画面で「＋」ボタンを押すと、登録済プログラム選択画面に切り替ります。
●「＋」「－」ボタンで希望の登録済プログラム番号を選択します。―１０ページ参照
●最後に「セット」ボタンを押し確定します。

※登録済プログラムも、手動で設定内容の変更が可能です。

◇設定解除

〔設定解除〕
●設定選択画面で「－」ボタンを押すと、「解除」の右横に「OK」が表示されます。
●解除がOKであれば「セット」ボタンを押し確定します。

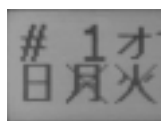
◇減熱設定％は、設定されている蓄熱量に対する％となります。
〔計算の仕方〕
蓄熱設定値ｘ（１００％－減熱設定値）＝蓄熱量

８０％設定時に５０％減熱設定した場合→８０％ｘ（１００％－５０％）＝４０％
６０％設定時に３０％減熱設定した場合→６０％ｘ（１００％－３０％）＝４２％

ファン予約・減熱設定の登録済メニュー

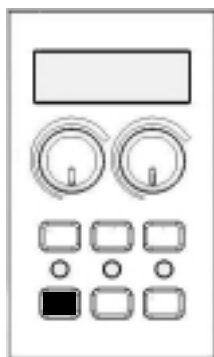
◇登録済プログラムの中から生活パターンに一番近いモードをお選び頂き、登録内容の変更をすると
予約設定が簡単です。

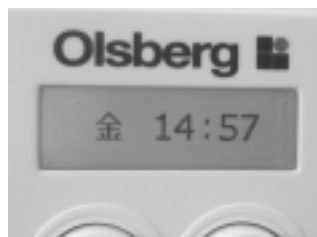
登録済 ファン予約設定リスト

登録済ファン予約メニュー	運転モード	設定時間	曜日設定							想定使用状況
			日	月	火	水	木	金	土	
ファン 予約 登済 1	ON	06:00	○	○	○	○	○	○	○	通常使用時
	OFF	22:00	○	○	○	○	○	○	○	
ファン 予約 登済 2	ON	06:00	○	○	○	○	○	○	○	週休2日（土日）で平日日中不在の家庭
	OFF	08:00	×	○	○	○	○	○	×	
	ON	17:00	×	○	○	○	○	○	×	
	OFF	22:00	○	○	○	○	○	○	○	
ファン 予約 登済 3	ON	06:00	○	○	○	○	○	○	○	週休1日（日）で平日日中不在の家庭
	OFF	08:00	×	○	○	○	○	○	○	
	ON	17:00	×	○	○	○	○	○	○	
	OFF	22:00	○	○	○	○	○	○	○	
ファン 予約 登済 4	ON	07:00	×	○	○	○	○	○	×	職場での使用（土日休み）
	OFF	19:00	×	○	○	○	○	○	×	
ファン 予約 登済 5	ON	09:00	○	×	×	×	×	×	○	週末のみ使用する別荘等 金曜日の夜到着 日曜日の夜出発
	ON	17:00	×	×	×	×	×	○	×	
	OFF	19:00	○	×	×	×	×	×	×	
	OFF	23:00	×	×	×	×	×	○	○	

●表中の「○」は設定あり。ディスプレィ上に「×」表示なし。
●表中の「×」は設定解除。ディスプレィ上に「×」表示あり。
※左の例では、「日」は設定。「月火」は設定解除となります。

登録済 減熱設定リスト

登録済減熱設定メニュー	曜日設定							想定使用状況
	日	月	火	水	木	金	土	
蓄熱 減 登済 1	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	通常使用時
蓄熱 減 登済 2	0%	30%	30%	30%	30%	30%	0%	平日昼間に留守になる家庭等
蓄熱 減 登済 3	0%	30%	30%	30%	30%	30%	30%	土曜日も留守になる家庭等
蓄熱 減 登済 4	70%	0%	0%	0%	0%	0%	70%	週末に使わないオフィス等
蓄熱 減 登済 5	0%	70%	70%	70%	70%	30%	0%	週末のみ使用する別荘等

③「時計合わせ」・・・「メニュー」ボタンｘ３回

◇１年に一回、シーズンインの時に現在時刻をご確認頂き、誤差が生じている場合は、下記の手順に従って現在時刻の修正を行ってください。

●「メニュー」ボタンを３回押し、ディスプレィに「時計修正画面」を表示させる。
●「セット」ボタンを押すと「曜日」→「時」→「分」の順にフリッカーします。
●設定したい項目をフリッカーさせ「＋」「－」ボタンで修正します。

◇時計設定画面

・工場出荷時に時計合わせは完了しております。
・設置が完了し通電すると現在時刻が表示されます。
・時計誤差がある場合は修正してください。

〔２００V電源だけで給電している場合〕

シーズンオフにブレーカーを落とすとディスプレィ表示が消灯します。
シーズンオフの期間中は、バックアップ電池により時計は動作しておりブレーカーを上げると現在時刻が表示されます。
この時、現在時刻をご確認頂き、誤差がある場合は修正してください。

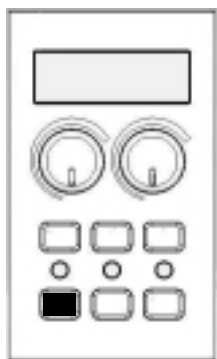
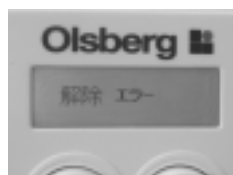
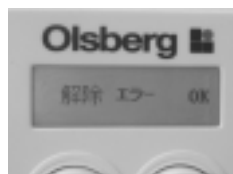
〔１００V＋２００Vで給電している場合〕

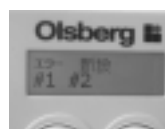
シーズンオフに蓄熱用の２００Vブレーカーを落としてもディスプレィの表示は消えません。
１００Vがコンセントに繋がっている場合、シーズンオフ期間中はコンセントプラグを抜いてください。

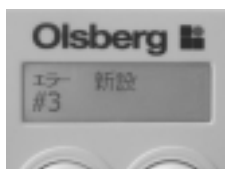
※ブレーカーを上げた時に、大幅に時計表示が狂っている時は、バックアップ電池が消耗しています。バックアップ電池の交換が必要です。
※停電補償は10年です。

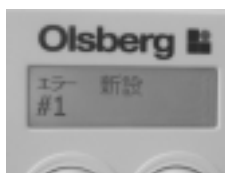
■バックアップ電池の交換

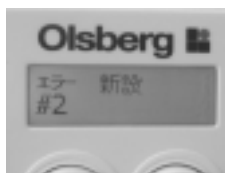
時計のバックアップ電池は、本体の右側面パネルの中にあるメイン基板に取り付けられています。
電池を交換する場合は、右側面パネルを開ける必要がありますので、お買い求めの販売店にご連絡下さい。

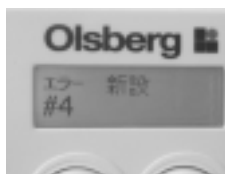
④「エラー解除」・・・「メニュー」ボタンｘ４回

◇機械のチェックの必要が生じた場合、ディスプレィにエラー画面が
　通常表示と交互に表示されます。
※エラー表示画面が出た場合は、バックライトは常時点灯となります。

◇エラー解除画面
　「メニュー」ボタンを４回押す。

◇「セット」を押すと右側に「OK」と表示されるので、
　更にもう一度「セット」を押すと「エラー＃３」が
　解除されます。

■二つ以上のエラーが同時に発生した場合

●エラー番号が並んで同時に表示されます。
　説明書を良くお読みになりエラー解除を
　実施してください。

〔エラー＃３〕蓄熱回路異常・・・エラー解除モードに切替、エラー表示を解除します。

●蓄熱回路に異常が検知されると「エラー＃３」が表示されます。
●蓄熱回路に不具合が生じ、正常に蓄熱されなかった時に表示されます。
●100Vで制御回路に給電している場合は、200VブレーカーがOFFになっている
　時に蓄熱設定が０％以外に設定されていると「エラー＃３」が表示されます。
※この場合は、ブレーカーと蓄熱設定ダイアル位置を確認してください。

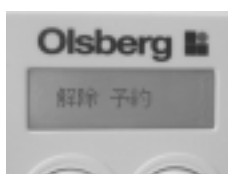
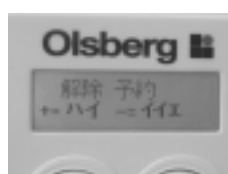
〔エラー＃１〕室温センサー異常・・・自動復帰（エラー解除の操作はいりません）

●室温センサーに異常が検知されると「エラー＃１」が表示されます。
●稀にノイズ等の影響で「エラー＃１」が表示される事がありますが、エラー情報
　が消えるとエラー表示は自動的に消えます。（エラー表示の自動復帰機能）
●この場合はそのままお使い頂いても何ら問題はありません。
※エラー＃１表示が出続ける時は、販売店にご連絡頂き点検を受けてください。

〔エラー＃２〕コアセンサー異常・・・自動復帰（エラー解除の操作はいりません）

●コアセンサーに異常が検知されると「エラー＃２」が表示されます。
●稀にノイズ等の影響で「エラー＃２」が表示される事がありますが、エラー情報
　が消えるとエラー表示は自動的に消えます。（エラー表示の自動復帰機能）
●この場合はそのままお使い頂いても何ら問題はありません。
※エラー＃２表示が出続ける時は、販売店にご連絡頂き点検を受けてください。

〔エラー＃４〕転倒検知スイッチ作動・・・本体の設置状況を確認し，２００V(100V)電源をリセットしてください。

●360度の方向に25度以上の傾きを検知した時に表示されます。
●解除は２００V(100V）の電源リセットが必要です。
●蓄熱式電気暖房器の設置状態に不具合が無い事を確認した上でエラーの解除を
　行ってください。

---

⑤「予約解除」・・・「メニュー」ボタンｘ５回

◇設定したファン及び減熱設定を全てクリアする機能です。

●「メニュー」ボタンを5回押すと
　「解除 予約」画面になります。
　ここで「セット」を押すと予約
　内容を解除する画面になります。

●「＋」：予約内容のクリア
　「−」：予約解除のキャンセル

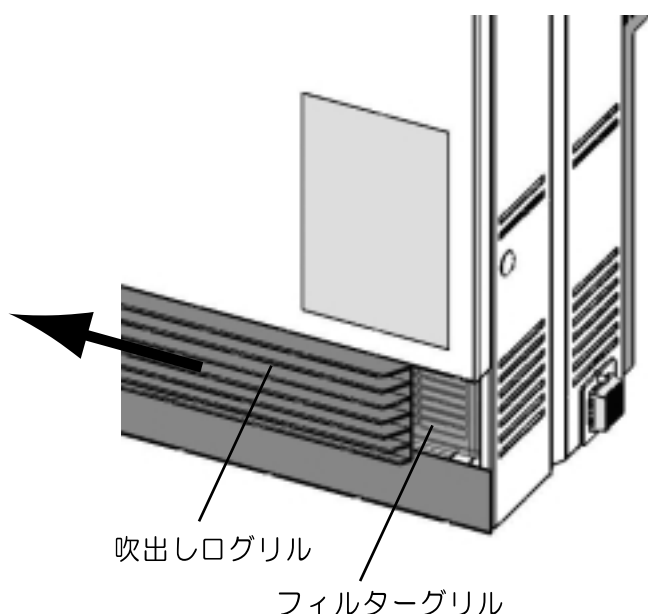
■メニュー操作フローチャート
※設定の途中で メニュー ボタンを押すと、各メニューモードの初期画面に戻ります。
金 14:51
蓄熱
メニュー
①ファン予約初期画面(P8)
ファン 予約
セット
セット = 変更
+=登済 −=解除
お勧め設定チャート(注1)
1オフ00:00
日月火水木金土
※登録内容の確認
※登録済内容の変更
※設定可能箇所がフリッカー
「ファン」のON-OFF設定
オン
オフ
解除
オン：予約時間が有効
オフ：予約時間が無効
解除：操作中の設定内容を消去
「時」設定
「分」設定
+：順送り
−：逆送り
「曜日」毎ON-OFF設定
セット：曜日を送る
+：ON（Xが非表示）
−：OFF（Xが表示）
■曜日の設定
設定されていない曜日には「X」がつきます。
左の例では、「日」はON。「月火」はOFFとなっています。
〔設定変更の手順〕
セット を押すたびに「プログラム番号」→「ON-OFF設定」→「時」→「分」→「日~土」の設定箇所がフリッカーしながら移動します。
+ − で設定変更し セット で確定。
※30秒経過するか、メニューを6回押し通常表示に戻します。
登録済みの予約内容を確認出来ます。
+ で予約番号が進み、− で戻ります。
− を押し続けると「新設」設定画面になります。
※P10参照
※登録内容の変更
新設 --:--
日月火水木金土
※マニュアル設定初期画面(注2)
ファン 予約 登済 1
登録済予約プログラムを使った設定
登録済みのﾌｧﾝ予約番号を選択し セット で確定。
※登録済予約内容はマニュアルで変更可能。—P10参照
■お勧め設定チャート(注1)
登録済ファン予約を設定し、登録内容を確認しながら設定内容を変更頂くと簡単にファン予約の設定が出来ます。
■マニュアル設定(注2)
1週間に42通りまで設定が可能です。
セット = 変更
+=登済 −=解除 OK
「OK」が出た時に設定内容が全て消去されます。
蓄熱減 日 70%
※30秒経過すると通常表示に戻ります。
※メニューを6回押し通常表示に戻します。
②減熱設定初期画面(P9)
蓄熱 減
蓄熱減 日 70%
登録内容の確認・修正
セット を押すと「曜日」と「%」がフリッカーしながら切り替わります。
+ − で「曜日」と「%」を変更し セット で確定します。
減熱量は10~70%まで10%単位で設定できます。
蓄熱 減 登済 1
登録済予約プログラムを使った設定
+ − で登録済番号を選択し セット で確定します。
※登録済予約内容はマニュアルで変更可能。—P10参照
蓄熱減 日 40%
「OK」が出た時に設定内容が全て消去されます。
※30秒経過すると通常表示に戻ります。
※メニューを5回押し通常表示に戻します。
③時計合わせ初期画面(P11)
金 14:53
セット を押すたびに「曜日」→「時」→「分」がフリッカーしながら切り替わります。
+ − で必要項目を修正します。
※30秒経過すると通常表示に戻ります。 ※メニューを3回押し通常表示に戻します。
④エラー解除初期画面(P12)
解除 エラー
解除 エラー OK
解除完了
※30秒経過すると通常表示に戻ります。
※メニューを2回押し通常表示に戻します。
⑤エラー解除初期画面(P12)
解除 予約
解除 予約
+=ハイ −=イイエ
解除 予約 OK
解除完了
※30秒経過すると通常表示に戻ります。
※メニューを1回押し通常表示に戻します。

５．お手入れの仕方

●オルスバーグの蓄熱式電気暖房器は、お手入れが非常に簡単になっています。

●オルスバーグは、ファンフィルターを装備しております。
ホコリの付着度合いに応じてフィルターを定期的にお手入れしてください。
（暖房シーズンに入る時にお手入れするのが理想的です。）

■ファンフィルターのお手入れ方法

①吹出し口グリルは、手で簡単に左にスライドさせる事ができます。
②吹出し口グリルをずらすとファイルターを取り出すことが出来ます。
③ファンフィルターは、前面と側面にＬ型に差し込まれています。
④破損させないように注意しながら引き出してください。
※フィルターを洗った場合は、完全に乾燥してから取り付けてください。

〔交換用フィルターセット〕･･･別売部品
フィルターの交換が必要な時は、下記型番にて販売店にご注文ください。

１．標準型２～４ｋW（14-512-9、14-513-9、14-514-9）：１４-５１２１．９２９９
２．標準型５～７ｋW（14-515-9、14-516-9、14-517-9）：１４-５１６１．９２９９
３．縦長型 全機種 （14-534-9～14-536-9）：１４-５３４１．９２９９
４．横長型 全機種 （14-552-9～14-556-9）：１４-５５３１．９２９９
※各セット５枚入り

■ファンのお手入れ方法

●ファンは本体内部に固定されています。
●ファンフィルターを通過してしまう細かいチリやホコリがファンに付着しますので、定期的な点検清掃が必要です。
●お手入れの頻度は取付状態やご使用状態によって変わります。
●購入後一回目のお手入れは二度目の暖房シーズン前に行う事をお勧めします。
（それによってお手入れのサイクルを決定できます）
●ファンの点検清掃は、保証期間内でも有償サービスとなります。
詳しくはお買い求めの販売店にお問合せ下さい。

■本体のお手入れ方法

●本体が汚れた時は、柔らかい布に少量の中性洗剤を染み込ませ拭き取ってください。
●クレンザー等研磨剤の入った洗剤を使用すると本体に傷が付きますのでお避けください。
●お部屋のお掃除をする時に、本体の右側面のスリットに付着したホコリも吸い取ってください。

6. ご注意

●初期の蓄熱時に、臭いや煙の発生が見られることがありますが異常ではありません。
①初期の運転時に限り見られる現象です。
②内部の断熱材、ヒーター素子等に付着した油分や蓄熱レンガ等に含まれる湿気が原因です。
③数回の運転で現象は収まります。
※臭いや煙が発生した場合は、窓を開けるなどしてお部屋の換気を十分に行ってください。

●本体に音鳴りが発生することがありますが異常ではありません。
①通電開始後に通電音が聞こえる事があります。
②ファンを使用した強制放熱運転時や、ファンを停止した際に音が発生する事があります。
③筐体が冷えたり加熱している時に音鳴りが発生する事があります。
※②、③は加熱・冷却により鉄板が伸縮する事により発生する音で危険性はありません。

●暖房器の近くや上に燃えやすい物を置かないで下さい。
木製のもの、洗濯物、洋服、新聞、毛布や家具を暖房器の上に置かないでください。
また、暖房器の（特に熱くなっている吹出しログリル）前に家具を25cmより近づけないでください。

●使用中は本体が熱くなります。（７０～８０℃）
低温やけどの恐れがありますので、小さなお子様やお年寄りのいるご家庭の使用にはご注意願います。

●蓄熱式電気暖房器は爆発性のガスや可燃性のホコリのある部屋では使用しないでください。
ホコリが出る大掃除の際は、ファンを切って運転するか、一時的に運転を中止してください。

●オルスバーグ蓄熱式電気暖房器は最適な安全調整を行っております。
不正な修理はお客様に大きな危険を与える可能性があります。
修理等は適切な資格を持ったサービス店で行ってください。

7. 故障かな？と思ったら

●故障かな？と思ったらお問合せの前に以下の項目をご確認ください。

◇蓄熱式電気暖房器が暖まらない

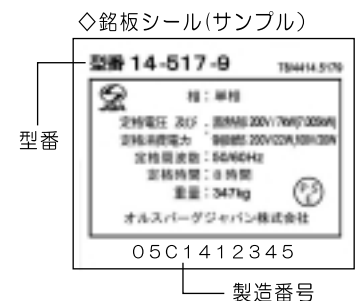
・蓄熱設定ダイヤルが正しく設定されているかご確認ください。
・ブレーカーが上がっているかご確認ください。

◇ファンが回らない

・室温設定ダイヤルが正しく設定されているかご確認ください。
・本体右側の離隔距離は十分確保されていますか？

●サービス（点検・修理）を依頼される場合は。

◇次の事をお知らせください。

①型番・・・保証書または、本体の右側面パネルの下側に
貼られた銘板シールに記載されています。
②納品日・・保証書を確認ください。（入居日でも可）
③故障状況・いつ頃から、どのような症状が出ていたか？

8．製品仕様書

型番		標準型（カラット）						縦長型（モンタナ）			横長型（センチュリー）				
		14-512-9	14-513-9	14-514-9	14-515-9	14-516-9	14-517-9	14-534-9	14-535-9	14-536-9	14-552-9	14-553-9	14-554-9	14-555-9	14-556-9
定格電圧（Ｖ）		単相200　１電源方式（蓄熱・送風・制御部）※制御部及びファンは、配線部の繋ぎ替えで100Ｖによる駆動可能。													
定格容量	蓄熱部（kW）	2.010	3.000	4.005	5.010	6.000	7.005	4.005	5.010	6.000	2.010	3.000	4.005	5.010	6.000
	送風部（w）※（ ）内は100V駆動時	11（11）	12（12）	13（13）	22（20）			22（20）			13（13）	22（20）			
蓄熱レンガ	素材	○酸化マグネシウムを主体とした特殊セラミック						○酸化鉄を主体とした特殊セラミック							
蓄熱レンガ使用数（箱数）	SP19	2	3	4	5	6									
	SP49	2	3	4	5	6									
	SP29						6								
	SP50						6								
	SP46							3	3	3	4	5	6	8	9
	SP27							3	4	6					
	SP37								1						
定格熱量（kWh）		16.08	24.00	32.04	40.08	48.00	56.04	32.04	40.08	48.00	16.08	24.00	32.04	40.08	48.00
有効蓄熱量（kW）		13.74	20.60	27.74	35.03	42.03	49.52	28.30	35.55	42.88	13.73	20.81	28.20	35.37	42.45
有効蓄熱率（%）		85.5	85.8	86.6	87.4	87.6	88.4	88.3	88.7	89.3	85.4	86.7	87.5	88.3	88.4
ヒーター素子		○ステンレスシーズヒーター													
断熱材		○マイクロサーム及びマルチサーム５５０						○マイクロサーム及びバーミキュライト			○マイクロサーム及びマルチサーム５５０				
送風機		○シロッコファン													
蓄熱量調整		○PT100センサー													
		○OFF・・215℃													
		○蓄熱量調節器：無段階調節													
放熱量調整		○室温センサー													
		○設定室温に応じファンを自動ON-OFF													
安全装置	温度過昇防止器	○OFF：135℃					○OFF：150℃	○OFF：135℃							
		○手動復帰型													
	蓄熱制御センサー	○125℃自動復帰型						○112℃自動復帰型							
	送風温度調整ダンパー	○バイメタル駆動													
		○吹き出し口温度に応じ自動開閉													
	転倒時給電停止装置	○フォトセンサー 360°の方向に25°の傾斜で動作													
		○正常姿勢に戻した後100V電源を再投入													
		○ヒーター及びファン電源を遮断													
	吹き出し口温度センサー	○OFF・・125℃						○OFF・・85℃			○OFF・・125℃				
	エラー表示 Er. 01	室温センサーエラー													
	エラー表示 Er. 02	蓄熱センサーエラー													
	エラー表示 Er. 03	蓄熱エラー：ヒーター回路にエラーが発生した場合表示。													
	エラー表示 Er. 04	転倒センサー作動：転倒していない場合も25°以上の傾斜を感知すると作動。													
	転倒防止機構	○プレート状転倒防止金具にて背部壁固定及び床固定。													
電源ケーブル	200Ｖ用	2.5φ		4.0φ	6.0φ		10.0φ	4.0φ	6.0φ		2.5φ		4.0φ	6.0φ	
寸法	幅（mm）	575	750	925	1135	1310	1310	670			860	1010	1160	1460	1610
	高さ（mm）	640						805	933	1061	476				
	奥行（mm）	300						380			345				
重量（kg）		100	140	180	225	265	347	230	280	330	148	181	215	281	314

9. 回路図

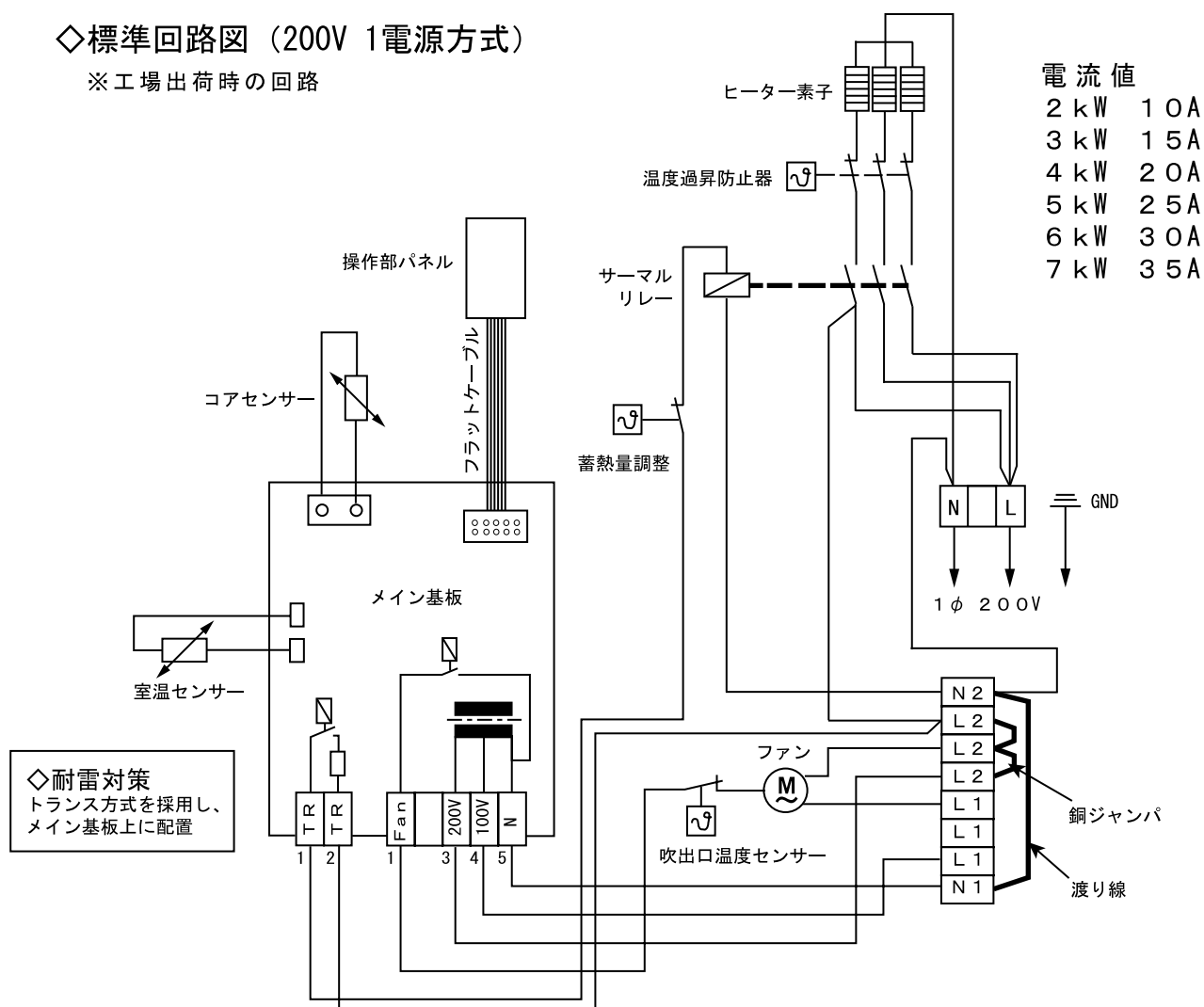
◇標準回路図（200V 1電源方式）

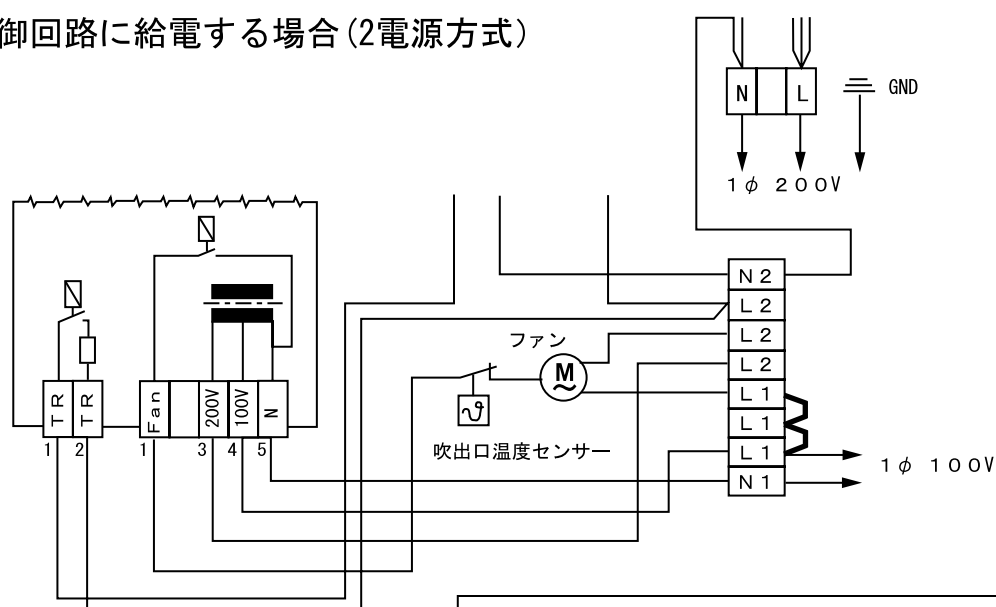
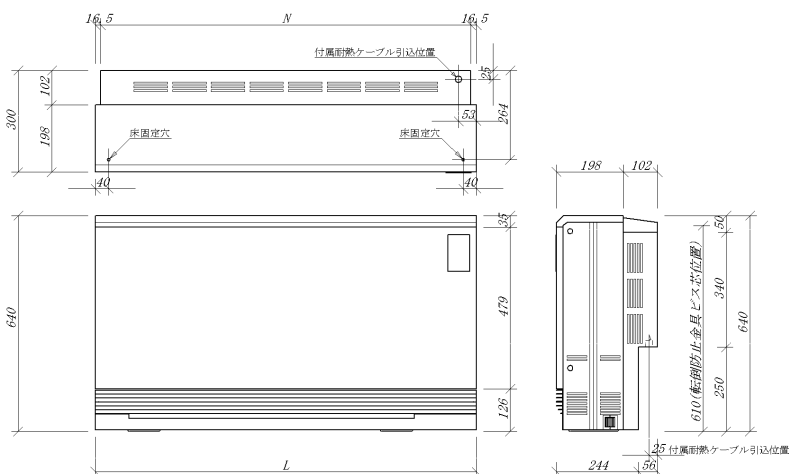
※工場出荷時の回路

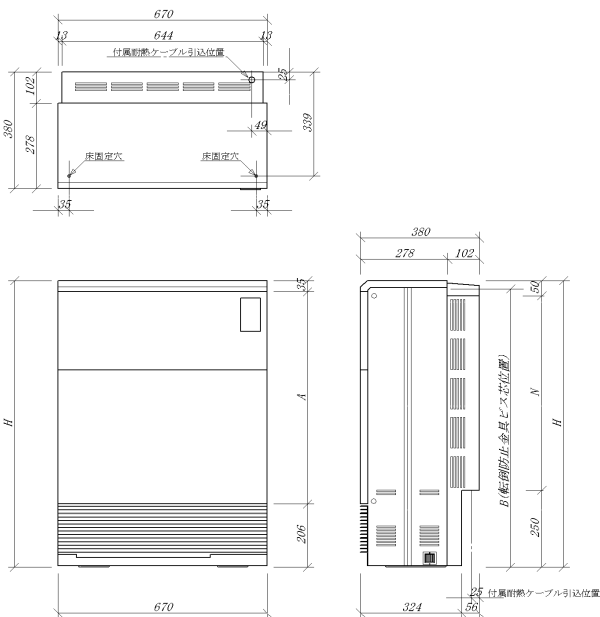
電流値

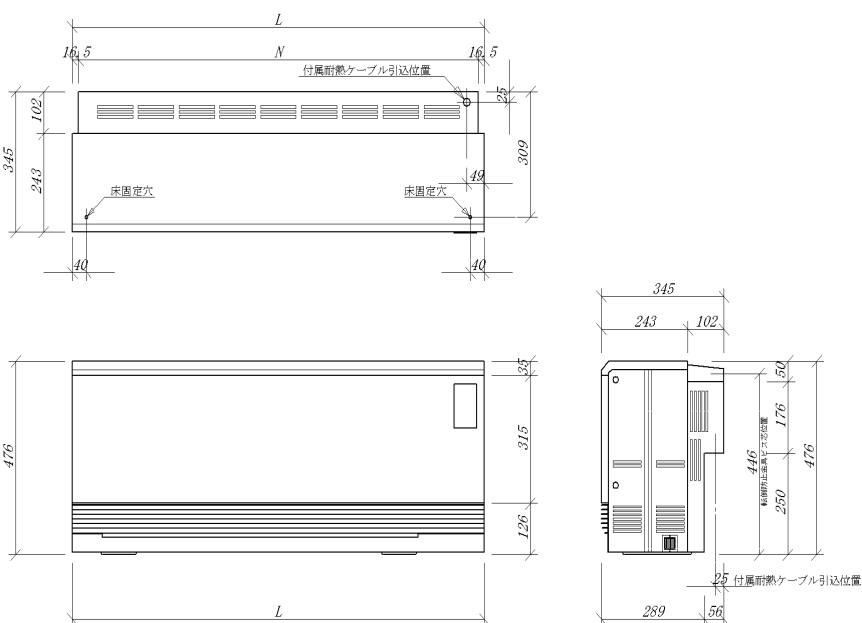
２kW	１０A
３kW	１５A
４kW	２０A
５kW	２５A
６kW	３０A
７kW	３５A

ヒーター素子
温度過昇防止器
操作部パネル
サーマル リレー
フラットケーブル
コアセンサー
蓄熱量調整
N L
GND
1φ 200V
メイン基板
室温センサー
N2
L2
L2
L2
L1
L1
L1
N1
ファン
M
銅ジャンパ
渡り線
吹出口温度センサー
TR TR
1 2
Fan 200V 100V N
1 3 4 5

◇耐雷対策
トランス方式を採用し、
メイン基板上に配置

◇100Vにて制御回路に給電する場合(2電源方式)

◇2電源方式への変更の仕方
①N１-N２に接続されている水色の渡り線を外す。
②L2-L2-L2に入っている銅ジャンパ片を、L1-L1-L1 に移動する。
③L1とN1に１００V用耐熱ケーブルを取り付ける。

１０．製品詳細図

◇標準型（Carat)

	L (mm)	N (mm)
14-512-9	575	542
14-513-9	750	717
14-514-9	925	892
14-515-9	1135	1102
14-516/517-9	1310	1277

◇縦長型（Montana)

	H (mm)	N (mm)	A (mm)	B (mm)
14-534-9	805	505	564	778
14-535-9	933	633	692	906
14-536-9	1061	761	820	1034

◇横長型（Century)

	L (mm)	N (mm)
14-552-9	860	827
14-553-9	1010	977
14-554-9	1160	1127
14-555-9	1460	1427
14-556-9	1610	1577

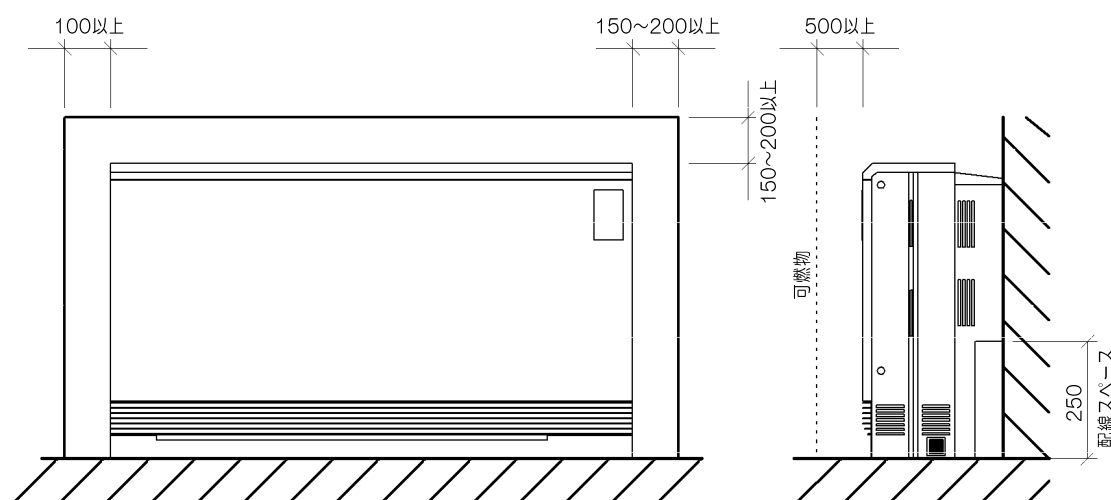
１１．離隔距離

■障害物・可燃物に対する離隔距離について

①安全確保のため離隔距離は必ず確保してください。
●思わぬ故障の原因となったり、焼損などの被害を与える恐れがあります。
●離隔距離が不足すると暖房効率が低下します。

②点検や修理には、上部及び右側面の離隔は２００mm以上が望まれます。
●ファンの交換やヒーター交換時に必要な離隔距離です。

③転倒防止金具は本体と一体となっておりますので、背面は壁に直付けとなります。

④右側面パネルに室温センサーが取り付けられております。
●右側面側の離隔が不足すると室温検知温度が高くなりファンの動作に支障をきたす事があります。

アフターメンテナンスも考慮し離隔距離を必ず確保してください。

※上記離隔距離は、本体を正常に動作させる為に必要な寸法であり、周囲の壁や棚等に対する影響を保証するものではありません。
※蓄熱式電気暖房器は、周りの空気を暖め自然対流させる事でお部屋を暖めます。
自然対流し易いように、出来るだけ周りの離隔距離を大きくおとりください。
※修理の際、離隔距離が少なく本体を移動させる必要が発生した場合、修理代が割増になる事があります。
※右側・上面離隔距離が150mm以上確保出来ない場合は、承認図をご確認ください。

蓄熱式電気暖房器は、運びやすくする為に本体と蓄熱レンガは別々に梱包されています。
「オルスバーグ」製品は梱包を必要最低限にし、リサイクルされた原料で作られています。
パッケージや製品は、可能な限り別の原料にリサイクルしたり適切に処理できるようになっています。
〔重要〕パッケージとリサイクルできる部分、廃棄する使用済みの製品及び製品部位を分別してください。